



# 子どもの居場所づくりシンポジウム

— 子どもが地域とつながるために —

地域の子ども食堂や学びの場は、子どもたちが安心して過ごす居場所としてはもちろん、大切な地域の交流、支援の場でもあり、現在は市内 130 箇所に広がっています。地域社会における子ども食堂等が持つ価値や、子どもの視点に立ったニーズやサポートのあり方から、地域とともに創っていく新しいつながりのカタチを深めます。

日時：令和4年11月19日(土)午後2時～4時

場所：①KYOCA Food Laboratory 3階 HACOBA (定員 60名)

京都市下京区朱雀正会町1-1 (JR山陰本線「梅小路京都西」駅より徒歩約1分)

②オンライン会議 Zoom (定員 80名)

対象：活動者、子どもの居場所づくりを応援したい方、関心がある方



## 報告

子どもの居場所づくり インタビュー調査から見たこと

京都市社会福祉協議会 地域支援部

## 講演

子ども食堂が持つ価値—こどもまんなか社会—

講師：湯浅 誠 さん

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長



## トークセッション

子どもの視点に立った、子どもの居場所とは

## 申込方法

所定のフォームからお申し込みください。 <https://forms.gle/Vpu7d95bAkSbgDrX9> 申込フォーム

申込期日:11月15日(火)17時

※感染状況によっては、開催形態を変更する場合があります。ご了承ください。

なお、会場参加の方はマスクの着用、手指の消毒にご協力をお願いします。



問合せ先 社会福祉法人 京都市社会福祉協議会  
TEL：075-354-8732 (受付時間 平日9時～17時)  
E-mail：commu@kcsw.jp

主催：京都市  
運営：社会福祉法人 京都市社会福祉協議会  
共催：京都市福祉ボランティアセンター・  
各区ボランティアセンター



# 子どもの居場所づくりシンポジウム

— 子どもが地域とつながるために —

## プロフィール



講師：湯浅 誠 さん

社会活動家。東京大学先端科学技術研究センター特任教授  
認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 理事長  
1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。  
内閣官房子ども家庭庁準備室「子どもの居場所づくりに関する調査研究検討委員会」座長。  
著書に、『つながり続ける 子ども食堂』（中央公論社、2021年）  
ヤフーニュース個人に連載中の「1ミリでも進める子どもの貧困対策」で  
「オーサーアワード2016」受賞、「子ども食堂安心・安全プロジェクト」で  
CampfireAward2018受賞。他に日本弁護士連合会市民会議委員など。

## プログラム

報告：子どもの居場所づくり インタビュー調査から見たこと

京都市社会福祉協議会 地域支援部

講演：子ども食堂が持つ価値—子どもまんなか社会—

講師：湯浅 誠さん

(認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 理事長)

トークセッション

「子どもの視点に立った、子どもの居場所とは」

コーディネーター：村井琢哉さん (NPO 法人山科醍醐子どものひろば 理事長)

コメンテーター： 湯浅 誠さん

パネリスト： 木村友香理さん (NPO 法人コミュニティ・スペース sacula 代表)

※子どもの声を聴く、受けとめる

中土井海斗さん (子ども食堂「からふる」代表)

大脇 菜那さん (子ども食堂「からふる」副代表)

※学生が主催する子ども食堂

森川 浩孝さん (京都市立醍醐西小学校 校長)

※子ども食堂と学校の連携



グラフィックレコーディング 三宅 正太さん (ファシリテーション グラフィックカー)

kyoto  
こころつなげる  
プロジェクト

「kyoyoこころつなげるプロジェクト」とは、  
京都市社会福祉協議会・各区社会福祉協議会が、  
すべての人が支え合いながら生きていく  
地域共生社会を目指すための取組です。



京都市社会福祉協議会  
は、持続可能な開発  
目標 (SDGs) を  
支援しています。